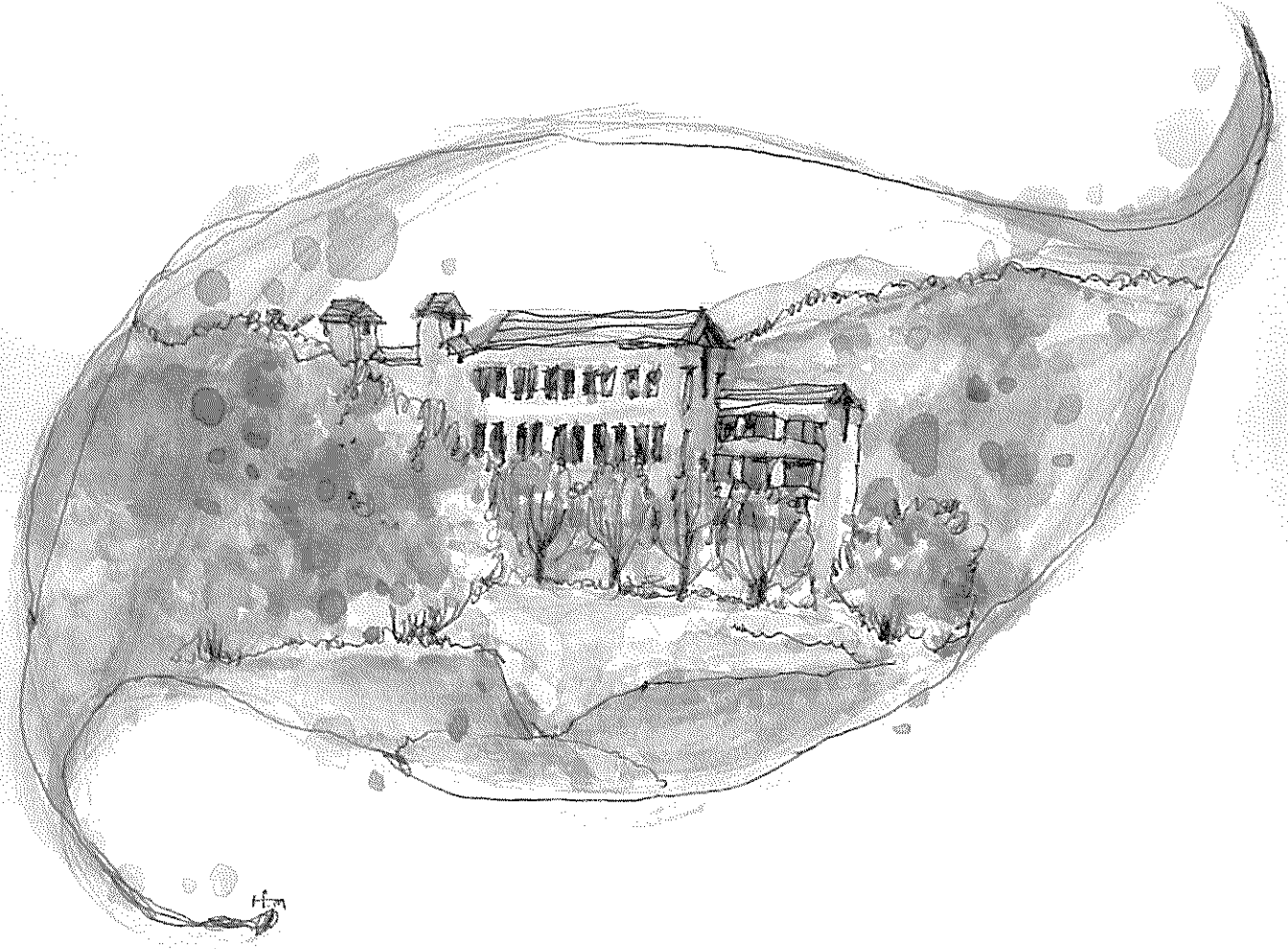


平成20年度

要 覧

ここから 始まる 学びの輪



学習・体験・交流の広場



福岡県立社会教育総合センター

県立社会教育総合センターは、少年自然の家を併設する施設で、年間延べ10万人以上の方々にご利用いただいています。

県民の社会教育活動や青少年の体験活動を支援する社会教育施設として、1 県民の学習活動支援、2 子どもの育成支援、3 社会教育関係者等の養成支援に取り組んでいます。



表紙及び上のイラストは当センター指導員三根弘子の作品です。

目 次

沿革	2
----	---

施設概要

1. 建築概要	3
2. 施設設備	3
3. 利用案内	7
4. 使用料一覧	8
5. 福岡県視覚ライブラリー	9

組織・機構・職員一覧	10
------------	----

平成 20 年度事業	11
------------	----

平成 19 年度実績

1. 事業	13
2. 学習相談状況	16
3. 家庭教育相談	17
4. 施設の利用状況	19



所 章

県立社会教育総合センターが、本県の社会教育を総合的に推進する施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。



沿革

昭和53年12月4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議
昭和55年 8月 8日	建設場所を篠栗町に決定
昭和57年 1月11日	造成工事に着工
11月19日	建築工事に着工
昭和58年12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)公布
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室を社会教育課内に設置
"	研修団体の利用申込みの受付開始
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第1号)公布
"	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第3号)公布
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第9号)公布
4月 1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(昭和58年福岡県条例第23号)により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家を設置
"	初代所長に安部徹(県教育庁教育次長兼任)が就任
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局のセンター内への移転に伴い、福岡県視聴覚ライブラリーを同センターに開設
8月20日	所章(シンボルマーク)決定
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家落成式
昭和60年 3月9日	野外活動施設(野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋)完成
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則(昭和60年福岡県教育委員会規則第7号)公布
昭和61年 4月 1日	第2代所長に加来宣幸が就任
12月20日	上山窯完成
昭和63年 4月 1日	第3代所長に山口春禮が就任
平成元年 4月 1日	第4代所長に濱地甫伯が就任
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任
7月	施設ボランティア「若杉の会」発足
平成4年 4月 1日	第6代所長に窪田康徳が就任
7月24日	利用者100万人突破
12月24日	キャンプ炊飯場新設
平成5年 4月 1日	第7代所長に松崎輝生が就任
平成6年 4月 1日	第8代所長に大神俊明が就任
10月16日	あじさい小屋完成
平成8年 4月 1日	第9代所長に森本精造が就任
9月 1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更
平成10年 5月	ホームページ「ふくおか生涯学習ネットワーク」運用開始
7月14日	レストランをバイキング方式に変更するとともにパン工房を設置
平成11年 2月12日	炭焼窯完成
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみ発行
5月8日	学習ボランティア「若杉の会」10周年記念交流会開催
平成12年 3月31日	山道等災害復旧工事完了
4月 1日	第10代所長に瓜生浩平が就任
平成13年 2月	パソコンルーム設置
4月 1日	第11代所長に安野義勝が就任
11月18日	利用者200万人突破
平成14年 4月 1日	第12代所長に重松孝士が就任
平成15年 3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により山林整備
11月14日	創立20周年記念行事(式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル)実施
平成16年 3月31日	あじさい炊飯場完成
7月14日	釜山地域平生教育情報センターと交流協定締結
平成17年 4月 1日	第13代所長に菊川律子が就任
10月 1日	ホームページ「ふくおか子育てパーク」運用開始
平成19年 4月 1日	第14代所長に角伸幸が就任

施設概要

1 建築概要

- 敷地面積 201,750m²
- 建築面積 5,838m²
- 建物延面積 12,492m²
- 建築構造 鉄筋コンクリート造
- 建築工事期間 起工 昭和57年11月19日
竣工 昭和59年3月31日
- 総工事費 4,321,457,000円

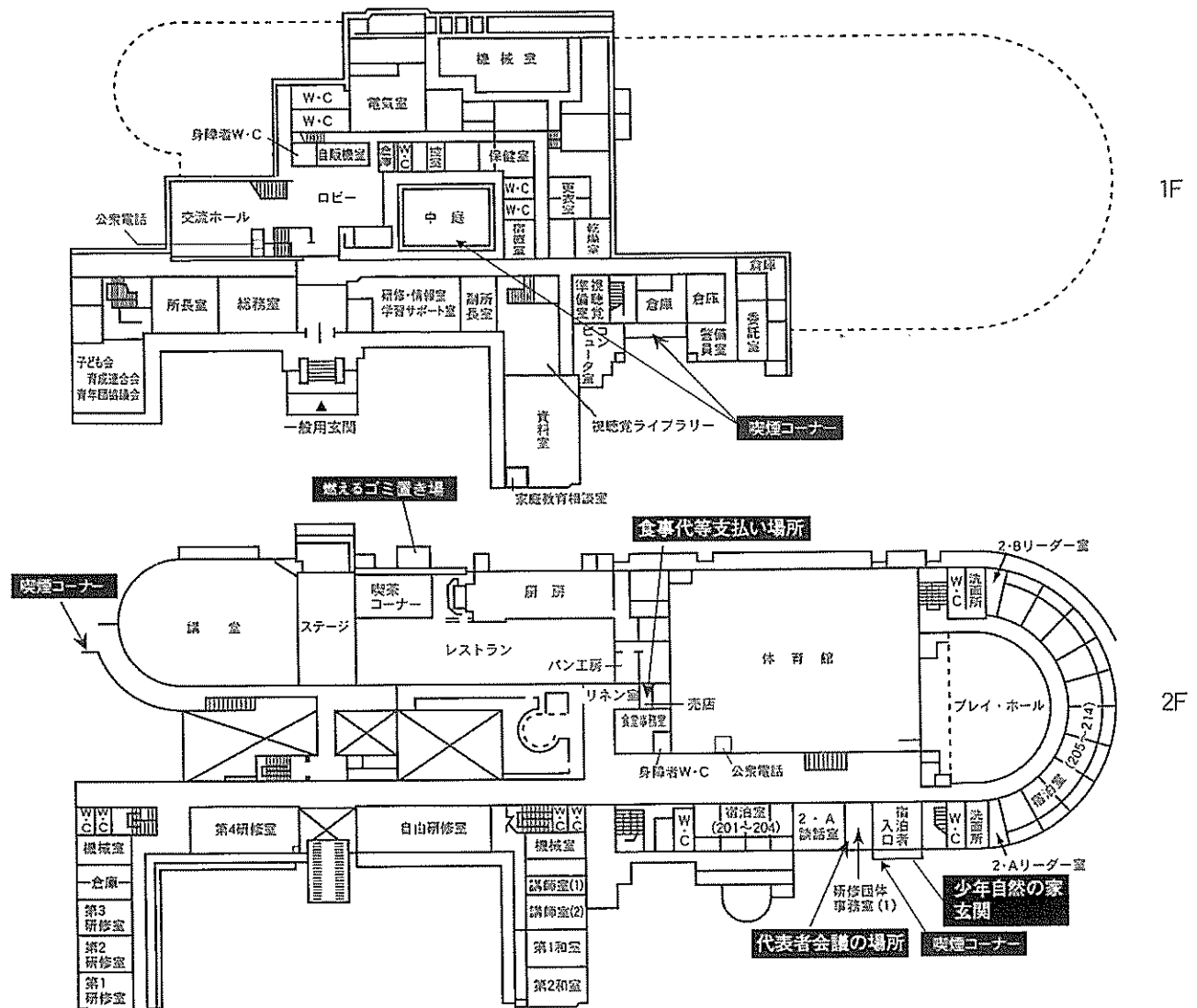
1階	2,725m ²
2階	4,958m ²
3階	2,434m ²
4階	2,315m ²
P.1階(塔屋)	60m ²

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(m ²)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	316ベッド	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
2・3階	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴室	155		大浴室、中浴室、身体障害者用浴室	
駐車場			80台		第1・第2駐車場

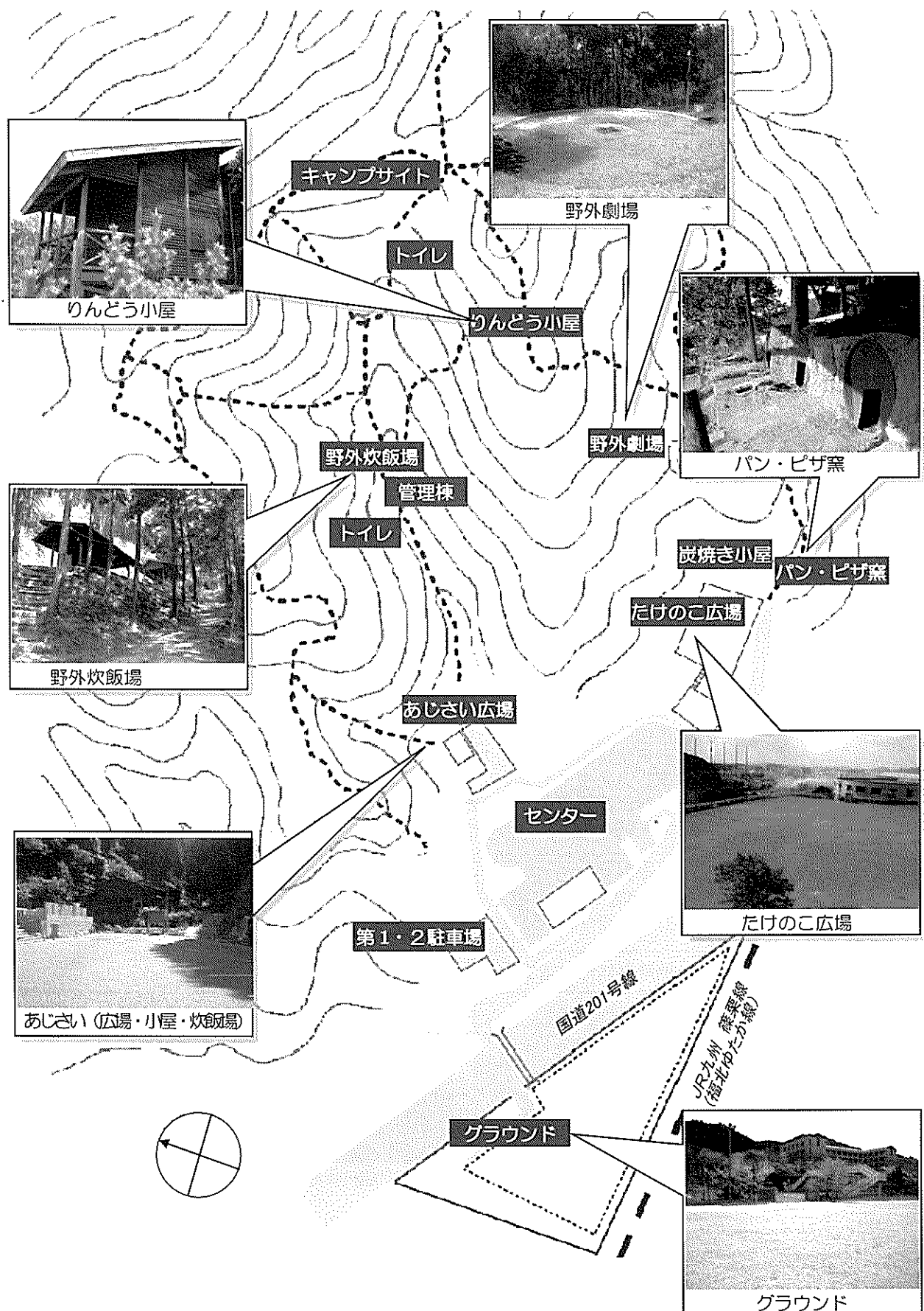
② 施設平面図



③ 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
1階	資 料 室		社会教育関係等の図書、資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ール		交流、憩いの場、学習作品の展示	テレビ、応接セット、ピアノ、ビデオ
	控 室		講師控室、学習相談	机、応接セット
	所長室・副所長室・事務室		所の管理運営	
	視聴覚ライブラリー		視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材、DVD
2階	講 堂	500	大会、研修室、講演会、映写会	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ
	レ ス ト ラ ン	238	茶話会、軽食、喫茶、クッキング	パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	OHP、黒板、机、移動式モニター
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和室(第1・第2)	45	研修室(16畳・20畳)	座テーブル
	体 育 館		バレー2面、バトミントン3面、バスケットボール1面(練習2面)、フリーテニス(3面)	各種ネット、柔道畳
	プ レ イ ホ ール		軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	オルガン
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場	ピアノ、アコーディオン、ステレオ、円テーブル
	美 術 室	36	美術研修、工作	石こう像、版画プレス
	実 習 室	48	陶芸、七宝焼、木工の製作	陶芸窯、七宝焼炉、粘土ろくろ
	第 5 研 修 室	48	講義、研修	OHP、黒板、机
	和 室 (第 3)	12	研修、茶道、華道	座テーブル、茶道具
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修(スロープ式研修室)	16ミリ映写機、ビデオ(VHS、β、Uマチック)、ステレオ、モニターテレビ
	パソコンルーム・調整室	20	パソコン研修	パソコン
	ボランティアルーム		ボランティアの交流	机、応接セット、書棚
	第 1 会 議 室	16	会議	机
	大 研 修 室	120	講義、研修	OHP、ビデオ(VHS)、16ミリ映写機、モニターテレビ
野外施設	グ ラ ウ ンド		ソフトボール、サッカー	各種スポーツ用具
	野 外 炊 飯 場	100	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	あじさい炊飯場	50	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	
	玄関前交流広場		交流の場	
	りんどう小屋	20	自然観察、天体観測、交流の場	荒天避難所
	たけのこ広場	300	朝・夕のつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あじさい小屋	20	工作	陶芸窯
	あじさい広場	100	工作、キャンプファイヤー	テーブル
	キャンプサイト	50	テント泊、野外炊飯	かまど
	炭焼き・パン焼き窯		竹炭作り、パン・ピザ作り	窯

野外施設配置図



3 利 用 案 内

当センターは、広く県民の社会教育を推進する教育施設であり、いつでも、だれでも利用出来る体制を整備しています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
相 談	学習相談	学習機会や講師情報、事例の紹介など様々な相談に応じます。(休所日を除く) TEL 092-948-0728 092-947-3512	来所及び電話による相談を受け付けています。
	家庭教育相談「親・おや電話」	保護者等を対象に子育て・家庭教育全般の相談に応じます。 TEL・FAX 092-947-3515 月曜日～土曜日 9:00～21:00 (ただし、第2月曜日・祝日・年末年始を除く) ※21:00～9:00は留守番電話・FAXにて受付	専門の相談員を配置しています。
	子育てサイト	「ふくおか子育てパーク」において、メールによる相談も受け付けています。 メール：soudan@kosodate.pref.fukuoka.jp	
図 書 資 料		資料室・ロビーの資料が閲覧・貸出しできます。	
視 聴 覚 教 材 の 利 用		利用申し込みは利用の3か月前から受け付けます。 電話での申し込みによる発送も行います。貸出期間は7日以内、1回の貸し出しは5本以内とします。 毎週月・木曜日発送。送料往復無料です。 受付は休所日を除く毎日8:30～17:00 TEL 092-947-3514	
研 修		主催事業の実施と、学校やグループ団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば、だれでも利用できます。また、5人以上であれば、宿泊研修もできます。 利用開始日の6か月前の月始めから1か月前までに申し込んでください。 事前に電話でご相談ください。 TEL 092-947-3511	ただし、全国規模の大会や研究集会、学校の教育計画として行う研修などで、特に必要があると認めた場合は1年前から申し込みを受け付けます。
見 学 ・ 視 察	団 体	見学希望日の1週間前までに電話で申し込んでください。 TEL 092-947-3511	
	個 人	随時受け付けます。	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～翌年1月4日)

○必要な経費

施設を使用する場合は、福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める使用料が必要です。

その他、食費は、朝食380円(小370円・幼200円)、昼食590円(小560円・幼300円)、夕食 660円(小620円・幼330円)です。宿泊研修の場合は、シーツのクリーニング代120円が必要です。

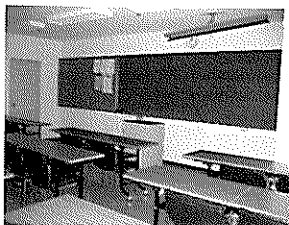
※()内の小は小学生料金、幼は幼児(4歳以上就学前)料金です。

4 使用料一覧

研修室使用料一覧表

	利用時間 ↓ 研修室	9:00 ↓ 12:00	13:00 ↓ 17:00	19:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 17:00	13:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 21:00
2 F	第1研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第3研修室	1,050円	1,400円	700円	2,800円	2,800円	4,200円
	第4研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	自由研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	第1和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	講 堂	10,680円	14,240円	7,120円	28,480円	28,480円	42,720円
3 F	音 楽 室	2,490円	3,320円	1,660円	6,640円	6,640円	9,960円
	美 術 室	1,410円	1,880円	940円	3,760円	3,760円	5,640円
4 F	大 研 修 室	3,180円	4,240円	2,120円	8,480円	8,480円	12,720円
	視 聴 覚 室	3,540円	4,720円	2,360円	9,440円	9,440円	14,160円
	宿 泊 室	1人1泊につき 1,180円					

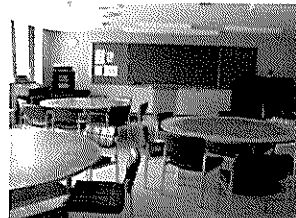
※研修で必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート室にお問い合わせください。



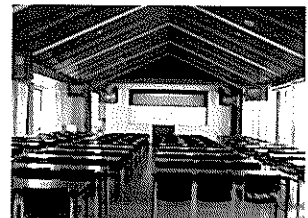
第1研修室



第4研修室



音楽室



大研修室

5 福岡県視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出を行っています。

16ミリフィルム	1,435本
ビデオ	2,462本
DVD	108本
CD-ROM	25本
スライド	20本
合計	4,050本

領域の内訳

学校教育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	スライド	社会教育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	スライド
国語	23	89	27	0	0	教養・情操	266	616	23	4	7
社会	83	285	21	1	0	健康・体力	69	120	15	0	0
算数・数学	6	4	0	0	0	家庭生活	59	99	2	0	1
理科	120	189	4	6	6	家庭教育	123	311	4	3	0
生活科	2	219	4	1	0	地域社会生活	195	327	20	5	11
音楽	5	13	0	0	0	人権・同和	235	165	2	0	0
図工・美術	16	20	1	1	0	国民生活	37	141	20	1	2
技術・家庭	8	25	1	1	0	国際性	17	65	0	0	0
保健・体育	42	176	16	1	0	職業生活一般	9	24	0	0	0
道徳	311	299	51	2	0	職業の知識・技術	2	95	6	0	0
特別活動	316	792	85	10	0	学習者の特性	53	70	4	3	0
						学習援助の方法	56	134	3	11	7
						社会教育施設	18	9	0	0	0
						一般映画	92	115	1	0	0
						自作ビデオ	0	76	0	0	0
						県コンクール入賞作品	0	13	0	0	0
						社教センター作品	0	13	0	0	0
						アニメーション作品	約212	約233	約21	約3	0

(平成20年4月1日現在)

※福岡県視聴覚教育協会所有の教材含む。

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はビデオが複数の領域で活用が出来るためです。

16ミリフィルム、ビデオ、DVD等

送料往復無料です

幅広い世代にご利用いただける教材がそろっています。



幼稚園
で

学校で

公民館
で

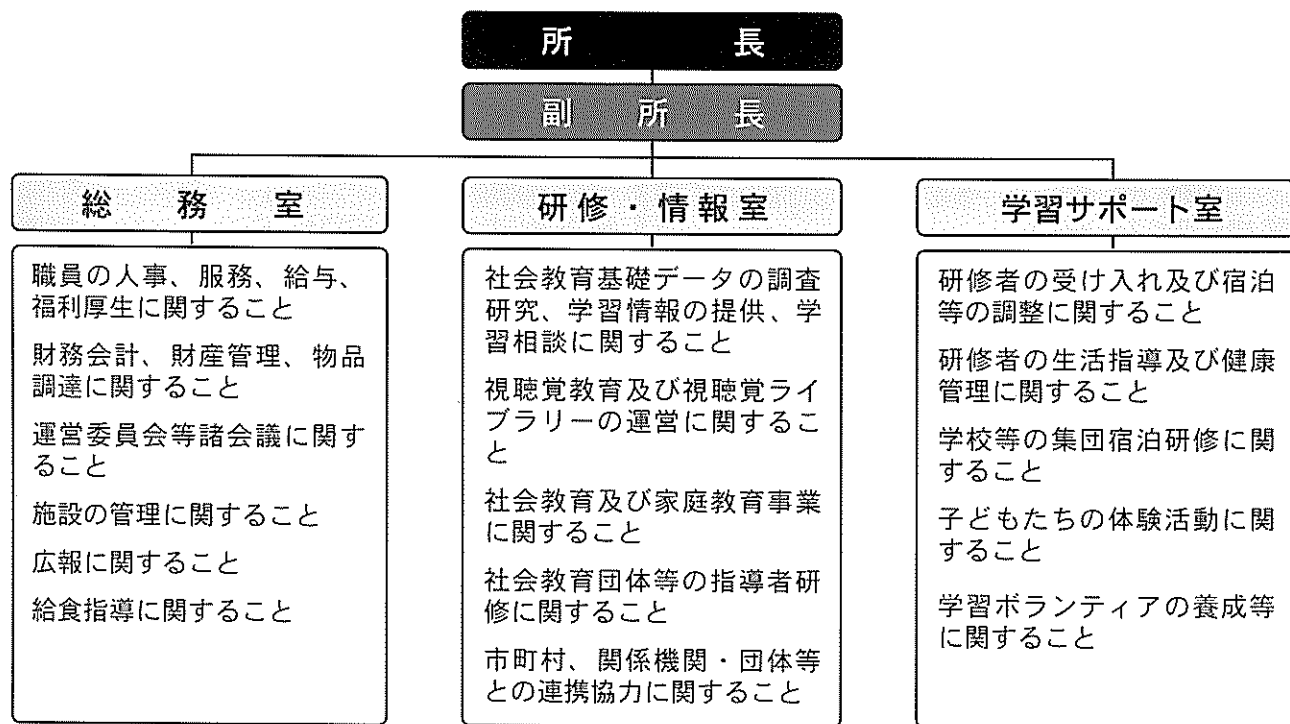
グループ
で



お問い合わせください
感動を電話1本で
お届けします！



組 織 ・ 機 構 ・ 職 員 一 覧



所 長 角 伸 幸
副所長 樋 田 京 子

室名	室長	室 員									
総務室	高田俊哉	企画主任	査主事	佐古櫻	藤川木曜	英哲也	彦子	技術嘱託	原あゆみ		
研修・情報室	花桐喜久郎	主任	社会教育主事	安部正俊	小野裕子	谷川茂一	益村祥平	相談員	井山鉢吉	山口嶺川	弥紀子
		指導主事	社会教育主事	吉村哲平	三村志保	黒葛原弘	三根子	相談員	相談員	相談員	江美子
		指導員	社会教育主事	白濱克彦	中村邦彦	富原和久	野見山紀美	指導員	大谷益後	和川藤左	忠康志
		指導員	社会教育主事	江井近	嶋手藤	克彦	裕潤	指導員	波原	間田千	輔一都志裕尋
学習サポート室	山本隆治	企画主任	社会教育主事	白濱克彦	中村邦彦	富原和久	野見山紀美	指導員	大谷益後	和川藤左	忠康志

視聴覚教育協会	臨時職員	藤 麻 湖
---------	------	-------



平成20年度 事業 ～こんなことをします～

1 県民の学習活動支援

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ ゆずフェスティバル

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解を深める

対象 小学生とその家族、地域住民
実施 11/8～9

子どもの体験活動支援

■ ワクドキおやじ塾【2回実施】

父と子のものづくりや自然体験、環境保全等の活動を通して、ふれあいを深め、父親の子育て参画を促進する

対象 小学生と父親(母親も可)
実施 ① 8/2～3 ② 10/11～12

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ 創立25周年記念事業「ニューイヤー体験プラン」

創立25周年を記念して、正月に因んだ様々な体験活動を提供する

対象 県民(家族、グループ単位)
実施 12/31～1/1

子どもの体験活動支援

■ 地域リーダー養成講座inささぐり【4回シリーズ】

小・中・高校生による異年齢交流や地域ボランティア活動等の共同企画・運営の実施を通して相互の連帯感を高め、学校・地域を担うリーダーを育てる

対象 篠栗町内及び近郊の小・中・高校生
実施 ① 11/29～30 ② 12/25～26
③ 1/17 ④ 2/14

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ 施設ボランティア交流事業

福岡県内の青少年教育施設ボランティアが日頃の活動を見直し、組織運営のあり方等について研修を行い、組織間の連携の促進と活動の活性化を図る

対象 施設ボランティアや活動に興味のある方
実施 3/14～15

子どもの体験活動支援

■ ワクドキウインターカーニバル

冬期の自然体験活動を通して「生きる力」や「心の豊かさ」を育み、共に学び協働していく意識を高める

対象 小学生(全学年)
実施 1/31～2/1

2 子どもの育成支援

子どもの体験活動支援

■ 和き合い愛塾inささぐり【4回シリーズ】

障害のある生徒を対象に、多様な自然体験、就労体験等を提供し、「生きる力」や個々の進路実現に繋ぐ力を養う
また、保護者を対象に職業的自立に向けた支援のあり方等について学習機会を提供する

対象 職業的自立をめざす、特別支援学校(養護学校)の高等部の生徒とその保護者
実施 【春】6/7～8 【夏】8/19～24
【秋】11/7～9 【冬】12/13～14

家庭教育支援

■ 子育てネットワークinふくおか

子育て関係者の学習・交流を通して子育てグループ活動の活性化を図るとともに、ネットワークを構築する

対象 子育てグループ等
実施 10/25～26

子どもの体験活動支援

■ レッツ・ゴー!5&5【事前講演会・7回シリーズ】

異年齢での体験活動等を通して、人と関わる力や集団生活のマナーの向上を図り、幼児の小学校生活への移行をスムーズにするとともに、小学校上級生としての自覚と自信を高める

対象 幼稚園、保育園等の5歳児(年長)と小学校4、5年生
実施 ① 6/21 ② 7/19 ③ 8/9 ④ 9/20～21
⑤ 10/18 ⑥ 12/20 ⑦ 3/20～21

3 社会教育関係者等の養成支援

職員等研修

■ 新任社会教育関係職員等研修【2回シリーズ】

社会教育の推進に必要な基礎的・基本的な知識等について学習する

対象 新任社会教育関係職員等
実施 ① 5/8～9 ② 7/18

職員等研修

■ 市町村社会教育委員新任者研修

社会教育委員の役割や社会教育の課題等について学習する

対象 新任社会教育委員等
実施 7/8

技能・技法研修

■ 指導者・引率者のための宿泊体験活動 How to 講座

施設での長期宿泊体験や通学合宿について、先進事例の紹介やプログラムの企画、指導者側のノウハウ等に関する研修を実施し、学校や地域で行われる長期宿泊体験活動を支援する

対象 教職員、青少年教育関係者
実施 5/27～28

技能・技法研修

■ 16mm映写機操作技術講習【2回開催】

16mm映写機操作技術を習得する

対象 市町村、学校、施設等職員
実施 ① 8/5 ② 11/4

技能・技法研修

■ 相談業務に係る職員のためのカウンセリング講座
【4回シリーズ】

高度化する相談ニーズに対応するためのカウンセリング技法を習得する

対象 相談業務に従事する方
実施 ① 10/6 ② 10/20 ③ 11/4 ④ 11/17

課題別研修

■ 家庭教育支援者等セミナー【5回シリーズ】

家庭教育支援者としての資質向上を図るとともにネットワークを構築する

対象 家庭教育アドバイザー、行政職員等
実施 ① 7/15 ② 8/27 ③ 9/26 ④ 11/30 ⑤ 1/22

課題別研修

■ 団塊世代・高齢者が活躍する地域づくりセミナー
【3回シリーズ】

高齢者等が学校支援や地域づくり等の活動を行うために必要な知識や情報を提供するとともに、ネットワークを構築する

対象 団塊の世代、高齢者、プラットフォーム関係者、行政職員等
実施 ① 7月中旬 ② 10月中旬 ③ 2/19

課題別研修

■ 学校支援につながる地域力活用セミナー

学校において地域の人材などを積極的に取り入れている実践の発表等を通して、学校を支援する地域力の活用方策について学ぶ

対象 学校関係職員、教育行政関係職員、学校運営協力者等
実施 8/22

交流研修

■ 中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会

生涯学習・社会教育関係者等の実践事例研究会を開催し、相互の研鑽と交流を図る

対象 生涯学習、社会教育関係者等
実施 5/16～18

一年を通しておこなっている事業

学習情報提供・学習相談

■ 「ふくおか社会教育ネットワーク」の運用（ホームページ）

インターネットを通して、社会教育に関する様々な情報の提供、当センター及び県内関係施設の紹介を行う

対象 県民、県、市町村、各団体、各施設等

学習情報提供・学習相談

■ 図書資料の収集・整備・提供

国や県、市町村の発行する図書資料等の収集、整備、提供を行う

対象 県民、行政関係者等

学習情報提供・学習相談

■ 視聴覚教材の収集・貸出し

社会教育、学校教育、家庭教育等に関する教材の収集と貸出しを行う（送料 往復無料）

対象 県民、学校、施設等

学習情報提供・学習相談

■ 学習相談の実施

学習相談体制を整備し、学習機会や講師情報、事例など様々な学習相談に応じる

対象 県民、行政関係者等

調査研究

■ 社会教育基礎データ調査研究

社会教育や家庭教育等に関する調査、データの収集・提供等を行う

対象 県、市町村、各団体

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ 社会教育応援隊

研修会や事業企画等の支援に職員を派遣する市町村等が抱える課題解決に向け、大学教授とセンター職員が相談に応じる

対象 市町村、各団体等

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ センター学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより会員の研鑽と会の充実を図る

対象 若杉の会会員

家庭教育支援

■ 家庭教育相談電話「親・おや電話」

保護者等を対象に家庭教育全般の相談に応じる

対象 保護者等

家庭教育支援

■ 「ふくおか子育てパーク」の運用（ホームページ）

パソコンや携帯電話を活用した子育てに関する情報の収集、提供、相談を行う

対象 県民、市町村、各団体等



19年度実績 ～こんなことをしました～

1

事業

① 県民の学習活動支援

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ ヤングボランティア養成講座

学習支援ボランティアとして、主催事業等で活動できる資質と能力を習得する

対象 県内の高校生及び大学生等
実施 6/16 89名
(理論、演習、実践)
1/20 33名
(実践発表、情報交換)



② 子どもの育成支援

子どもの体験活動支援

■ “ワクドキ”シリーズ第1弾「ワクドキ 夏祭り」

共催：青少年野外教育財団

地域行事（夏祭り）に参加し、1泊2日の異年齢集団による生活体験活動の機会を提供する

対象 小学生のみ
実施 7/7～8 158名



成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ 宿泊体験活動事前講座

宿泊利用予定の学校等を対象に、当施設の特徴や効果的な活動を事前学習する

対象 利用予定の学校団体等
実施 8/3 22名
2/1 25名



子どもの体験活動支援

■ “ワクドキ”シリーズ第2弾「ワクドキ おやし塾」

共催：青少年野外教育財団

～おやじが遊べば子どもは変わる～

家庭における父親の子育て参画を推進するため、父子での自然体験活動の機会を提供する

対象 小学生の父子
実施 7/28～29 40名
11/17～18 81名



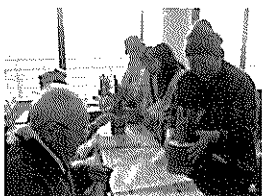
成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ センターゆずまつり

共催：青少年野外教育財団

冬至の時期に合わせ、様々な体験活動プログラムを提供する

対象 篠栗町内を中心とした地域住民
実施 12/15
延べ1603名



子どもの体験活動支援

■ “ワクドキ”シリーズ第3弾「ワクドキ体験カーニバル」

共催：青少年野外教育財団

子どもたちに施設を開放して、様々な体験活動やものづくりの機会を提供する

対象 篠栗町内を中心とした親子等
実施 11/11 613名



成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ 施設ボランティア交流事業

県立社会教育施設間の交流を通して、施設ボランティア活動の充実を図る

対象 県立社会教育施設ボランティア等
実施 2/16～17
40名



子どもの体験活動支援

■ 「和き合い愛塾」inささぐり

障害のある生徒及びその保護者に対し、職業的自立を支援する

対象 職業的自立をめざす特別支援学校等の高等部の生徒とその保護者
実施 8/18～19 9名
10/13～14 9名
12/ 8 33名



家庭教育支援

■ 子育てネットワークinふくおか

研修、学習、交流を通して子育てグループ活動の充実を図るとともに、子どもに体験活動を提供する

対象 子育てグループ等
実施 10/27 199名
10/28 206名

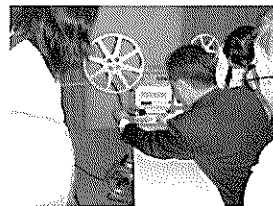


技能・技法研修

■ 16mm映画機操作技術講習

共催：県視聴覚教育協会

16mm映画機操作技術を習得する



対象 市町村、学校、施設
等職員
実施 8/ 7 8名
11/ 6 12名

③ 社会教育関係者等の養成支援

行政職員等研修

■ 社会教育専門セミナー

中央の講師等を迎え、これからの生涯学習・社会教育の施策等について研究協議を行う

実施 ① 5/11 80名
② 8/ 3 71名
③ 8/24 68名
④ 10/ 5 30名
⑤ 10/19 66名
⑥ 2/15 73名

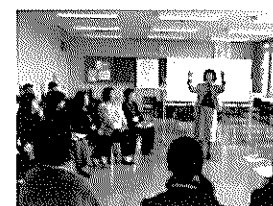


技能・技法研修

■ カウンセリング講座

多様化する援助ニーズに対応するためのカウンセリング技法を高める

対象 相談業務に従事する方
実施 10/ 1 27名
10/ 5 24名
10/29 24名
11/ 5 27名
11/19 26名
12/ 3 24名 (各月曜日)



行政職員等研修

■ 社会教育基本研修

生涯学習・社会教育の推進に必要な基礎的・基本的な知識等について学習する

対象 社会教育行政新任
職員
実施 5/23 44名
5/24 29名
7/20 86名

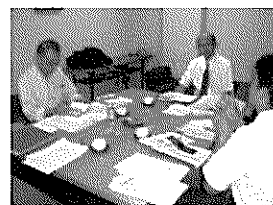


技能・技法研修

■ 社会教育行政相談

市町村等が抱える課題に対し、大学教授とセンタースタッフにより、その解決をめざす

(九州共立大学 古市勝也教授指導)
対象 市町村職員等
実施 6/14 4名
7/12 2名
8/ 9 2名
10/ 9 3名



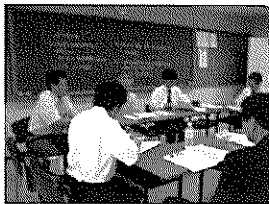
行政職員等研修

■ 市町村社会教育委員新任者研修

共催：県社会教育委員連絡協議会

社会教育委員の役割や社会教育の課題等について学習する

対象 市町村新任社会教育委員等
実施 7/3 94名

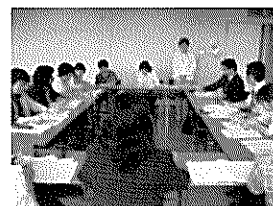


課題別研修

■ 家庭教育支援者セミナー

家庭教育支援者としての資質の向上とネットワークを図る

対象 家庭教育アドバイザー、
行政職員等
実施 6/19 76名
7/17 59名
8/28 45名
9/ 9 33名
2/25 74名



技能・技法研修

■ 野外活動Howto講座

指導者が野外の様々な場面に役立つ技能や技法を習得する

対象 行政、学校、団体、民間等指導者
実施 5/26 38名
9/29 20名



課題別研修

■ NPO等連携・協働推進セミナー

共催：県NPO・ボランティアセンター

NPO等の活力を活かした生涯学習の振興を図るための連携、協働について考える

対象 行政職員、各団体リーダー等
実施 8/ 4 25名



課題別研修

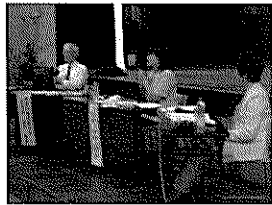
■ 社会教育的手法を活かす学校運営セミナー

(財)青少年野外教育財団との連携

社会教育行政経験をもつ教職員等が一堂に会し、社会教育の手法を活かす学校教育のあり方を研究協議する

対象 社会教育主事等、学校関係職員等

実施 8/10 70名



課題別研修

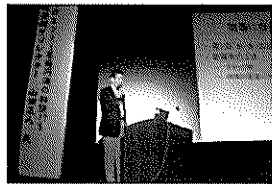
■ 男女共同参画セミナー

共催：県男女共同参画センター

男女共同参画社会の実現のために必要な知識や政策について学ぶ

対象 行政職員、団体等

実施 9/22 109名



課題別研修

■ 高齢者社会参加促進セミナー

高齢者の社会参加活動及び地域活動拠点のあり方等について研究協議する

対象 実行委員会、行政職員等

実施 2/21 83名



交流研修

■ 第26回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会

生涯学習・社会教育関係者等の実践事例研究会を開催し、相互の研鑽と交流を図る

対象 生涯学習、社会教育関係者等

実施 5/19~20 430名



交流研修

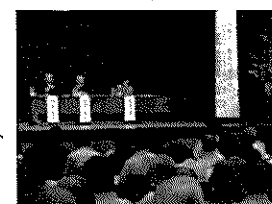
■ 県社会教育研究大会

共催：県社会教育委員連絡協議会

県内の社会教育委員、社会教育関係者等が一堂に会し社会教育の在り方や社会教育委員の役割等について研究協議する

対象 社会教育委員、教育委員、社会教育・学校教育関係職員、関係団体の会員等

実施 9/14 500名



交流研修

■ 公民館実践交流会

共催：福岡県公民館連合会

公民館の関係者が一堂に会し、日頃の実践の発表・交流を通じて、生涯学習社会における公民館活動のあり方を考える

対象 公民館関係者(公民館、自治館、公民館運営審議会等委員)、社会教育行政職員等

実施 2/6 526名

一年を通しておこなっている事業

学習情報提供・学習相談

■ 「ふくおか社会教育ネットワーク」の運用(ホームページ)

生涯学習・社会教育に関する様々な情報の収集・提供、当センター及び県内関係施設の紹介

対象 県民、県、市町村、各団体、各施設等

学習情報提供・学習相談

■ 図書資料の収集・整備・提供

生涯学習・社会教育に関する図書資料の収集、整備、提供

対象 県民、行政関係者等

学習情報提供・学習相談

■ 視聴覚教材の収集・貸出

生涯学習・社会教育・学校教育に関する教材の収集と貸出

対象 県民、学校、施設等

学習情報提供・学習相談

■ 学習相談の実施

学習相談体制を整備し、学習機会や講師情報・事例など様々な学習相談に応じる

対象 県民、行政関係者等

調査研究

■ 社会教育基礎データ調査研究

関係事業データの収集・整備、生涯学習・社会教育・家庭教育に関する調査・データの収集・提供

対象 県、市町村、各団体

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ 生涯学習応援隊

研修会や事業企画等の支援に職員を派遣

対象 市町村、各団体等

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■ センター学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより、会員の研鑽と会の充実を図る

対象 若杉の会会員

家庭教育支援

■ 家庭教育相談電話「親・おや電話」

保護者を対象に家庭教育全般の相談

対象 保護者等

家庭教育支援

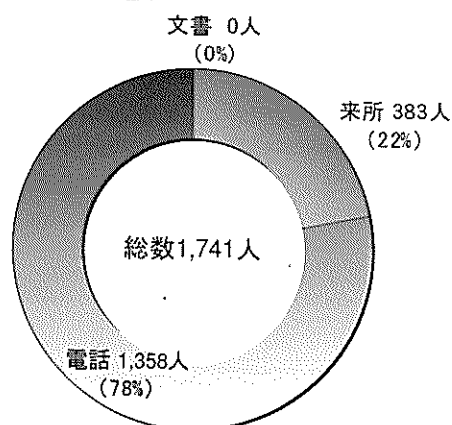
■ 「ふくおか子育てパーク」の運用(ホームページ)

パソコンや携帯電話を活用した子育てに関する情報の収集、提供、相談

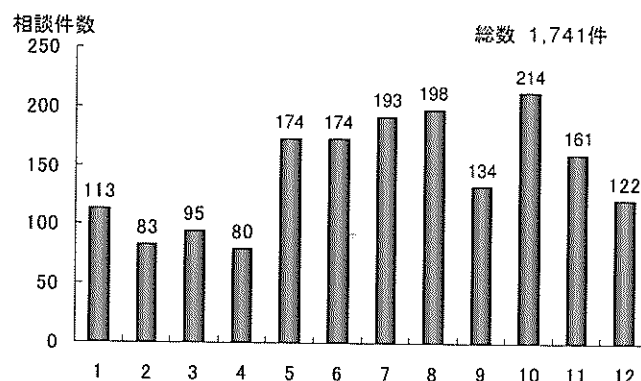
対象 県民、市町村、各団体等

2 学習相談状況

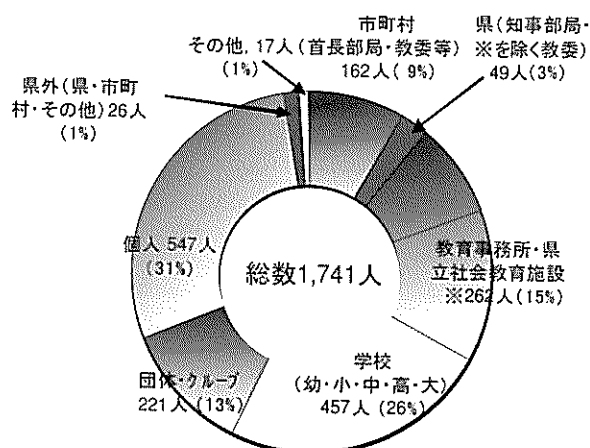
■相談方法別内訳



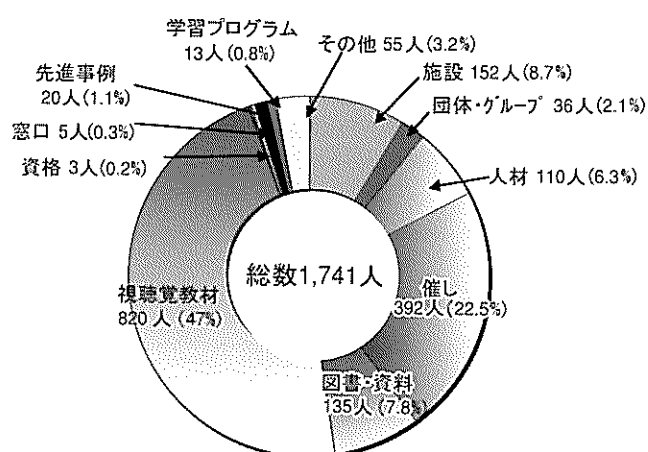
■月別相談件数



■相談者別内訳



■相談分野別内訳

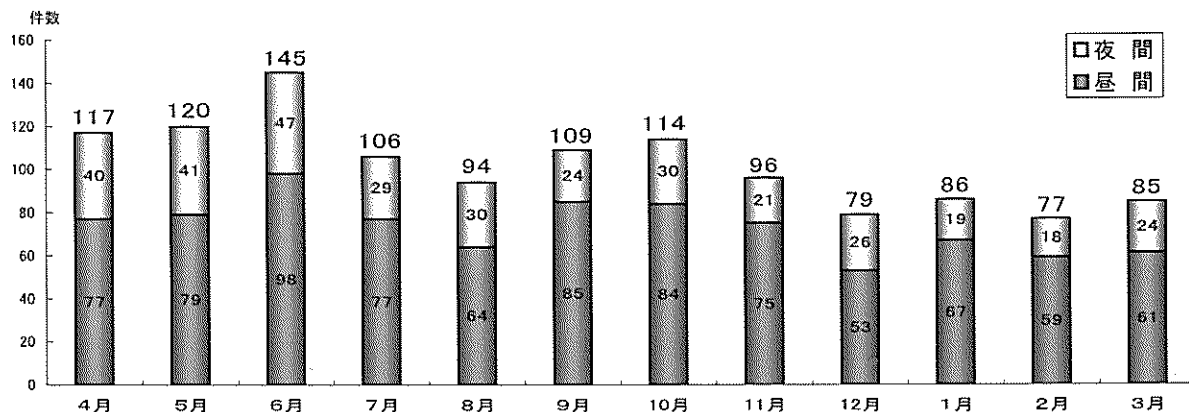


■相談者別の相談分野

相談者	相談分野	施設	団体	人材	催し	図書資料	視聴覚教材	資格	窓口	先進事例	学習プログラム	その他	年度累計
学校(幼・小・中・高・大)		13	2	17	1	2	411	0	1	3	1	6	457
市町村(首長部局・教委等)		6	3	33	24	8	66	0	1	8	4	9	162
団体・グループ		9	3	24	1	3	163	1	1	1	1	14	221
教育事務所・県立社会教育施設		5	14	11	1	73	147	0	0	4	2	5	262
その他		1	1	5	1	0	2	0	0	1	0	6	17
個人		113	10	11	344	37	13	2	1	2	3	11	547
県外(県・市町村・その他)		1	1	7	9	0	3	0	1	0	1	3	26
県(知事部局・教育事務所・県立社会教育施設を除く教委)		4	2	2	11	12	15	0	0	1	1	1	49
年度累計		152	36	110	392	135	820	3	5	20	13	55	1741

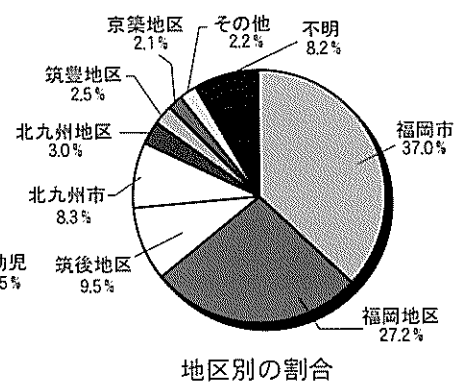
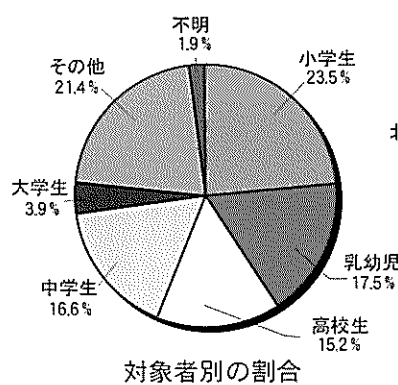
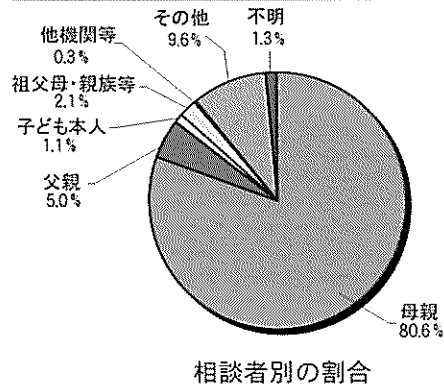
3 家庭教育相談「親・おや電話」

① 月別相談件数



② 相談者・対象者・地区別相談件数

		昼 間	夜 間	昼 + 夜	割 合
相 談 件 数		879	349	1228	100%
相 談 者	母 親	758	232	990	80.6%
	父 親	51	10	61	5.0%
	子 ども 本 人	11	2	13	1.1%
	祖 父 母 ・ 親 族 等	20	6	26	2.1%
	他 機 関 等	4	0	4	0.3%
	そ の 他	33	85	118	9.6%
	不 明	2	14	16	1.3%
小 計		879	349	1228	100%
対 象 者	乳 幼 児	154	60	214	17.5%
	小 学 生	238	51	289	23.5%
	中 学 生	161	43	204	16.6%
	高 校 生	151	36	187	15.2%
	大 学 生	17	31	48	3.9%
	そ の 他	152	111	263	21.4%
	不 明	6	17	23	1.9%
小 計		879	349	1228	100%
地 区	福 岡 市	315	139	454	37.0%
	北 九 州 市	79	23	102	8.3%
	福 岡 地 区	239	95	334	27.2%
	北 九 州 地 区	30	7	37	3.0%
	筑 豊 地 区	22	8	30	2.5%
	京 築 地 区	22	4	26	2.1%
	筑 後 地 区	90	27	117	9.5%
	そ の 他	10	17	27	2.2%
	不 明	72	29	101	8.2%
小 計		879	349	1228	100%



③ 内容別相談件数

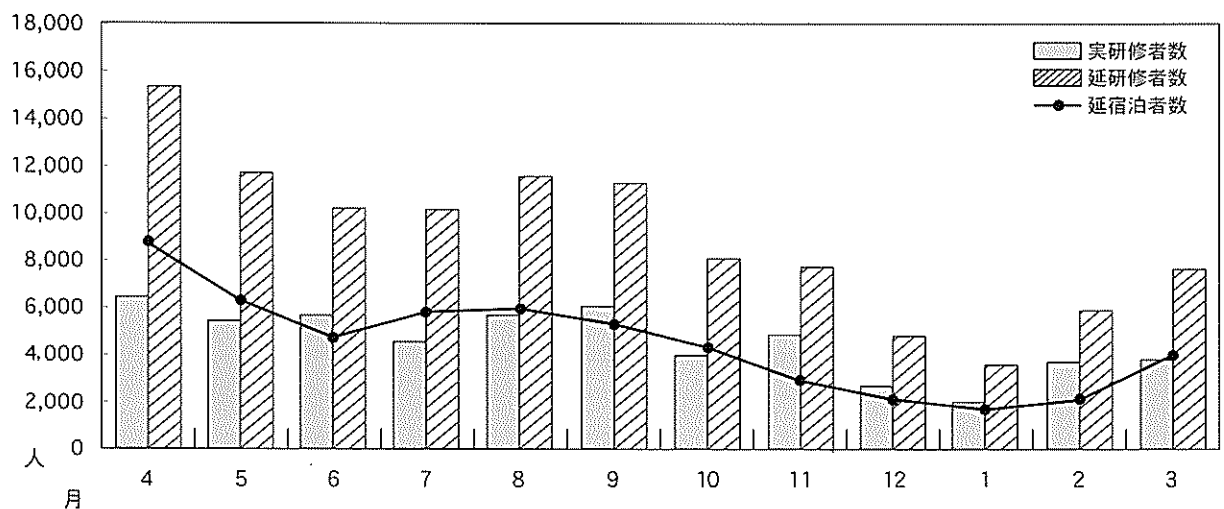
	昼 間			夜 間			昼 + 夜				
対 象 者	幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他	合 計	割 合
相談内容											
家族関係・親子関係 (育児ストレス含む)	59	43	73	10	12	11	69	55	84	208	16.9%
しつけ・養育・性格	145	72	9	57	19	2	202	91	11	304	24.8%
交友関係(親同士含む)	72	30	26	5	11	9	77	41	35	153	12.5%
教育・学校・進路	43	59	8	14	15	6	57	74	14	145	11.8%
保健・健康・安全 (心身症・うつ・チック症含む)	31	4	7	4	1	4	35	5	11	51	4.2%
不登園・不登校	11	50	3	2	12	0	13	62	3	78	6.4%
性	3	12	4	1	3	23	4	15	27	46	3.7%
他機関紹介・委託・移管・通告	5	5	7	2	1	7	7	6	14	27	2.2%
いじめ(ケンカ含む)	6	12	0	4	1	1	10	13	1	24	2.0%
非行・触法	3	13	0	2	1	2	5	14	2	21	1.7%
障害者	6	2	1	1	0	0	7	2	1	10	0.8%
虐待	1	0	0	2	0	0	3	0	0	3	0.2%
養護	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1%
家庭内暴力	0	1	3	0	1	1	0	2	4	6	0.5%
その他	8	8	28	4	4	80	12	12	108	132	10.7%
不明	0	2	2	0	1	4	0	3	6	9	0.7%
小計	394	313	171	108	82	150	502	395	321	1218	99.2%
対象・内容不明	1			9						10	0.8%
合計	879			349						1228	100%

合 計

4 施設の利用状況

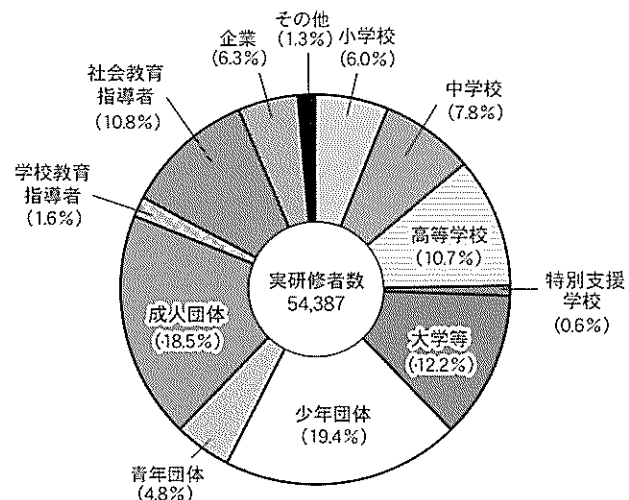
① 月別利用状況

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数	18	6,996	5,480	4,973	5,411	4,944	4,838	3,958	3,941	2,967	1,848	4,308	3,701	53,365
A	19	6,421	5,290	5,648	4,524	5,665	5,969	3,953	4,823	2,665	1,994	3,673	3,762	54,387
延研修者数	18	17,563	13,319	9,771	9,270	9,397	9,031	8,422	7,138	4,930	3,010	6,805	6,167	104,823
B	19	15,301	11,669	10,178	10,080	11,516	11,249	8,005	7,719	4,771	3,525	5,905	7,629	107,547
延宿泊者数	18	10,758	7,804	4,759	4,712	4,643	4,178	4,138	2,542	1,398	1,049	2,380	3,723	52,084
C	19	8,731	6,276	4,700	5,782	5,921	5,288	4,312	2,894	2,094	1,665	2,067	3,959	53,689
団体数	18	109	117	137	136	131	101	88	91	63	65	76	114	1,228
D	19	107	118	138	148	168	98	107	100	82	71	80	123	1,340
開所日数	18	30	29	28	30	31	28	29	28	26	25	26	29	339
E	19	30	29	28	30	31	29	30	28	26	25	27	29	342
宿泊可能日数	18	30	27	26	29	31	26	27	26	24	23	24	27	320
F	19	30	27	26	29	31	28	29	26	24	23	25	27	325
日平均	研修者数	18	585.4	459.3	349.0	309.0	303.1	322.5	290.4	254.9	189.6	120.4	261.7	309.2
	B/E→G	19	510.0	402.4	363.5	336.0	371.5	387.9	266.8	275.7	183.5	141.0	218.7	314.5
	利用率	18	185.3	145.3	110.4	97.8	95.9	102.1	91.9	80.7	60.0	38.1	82.8	97.8
	G/316→H	19	161.4	127.3	115.0	106.3	117.6	122.8	84.4	87.2	58.1	44.6	69.2	99.5
	宿泊人数	18	358.6	289.0	183.0	162.5	149.8	160.7	153.3	97.8	58.3	45.6	99.2	162.8
	C/F→I	19	291.0	232.4	180.8	199.4	191.0	188.9	148.7	111.3	87.3	72.4	82.7	165.2
	宿泊率	18	113.5	91.5	57.9	51.4	47.4	50.9	48.5	30.9	18.4	14.4	31.4	51.5
	I/316→J	19	92.1	73.5	57.2	63.1	60.4	59.8	47.1	35.2	27.6	22.9	26.2	52.3

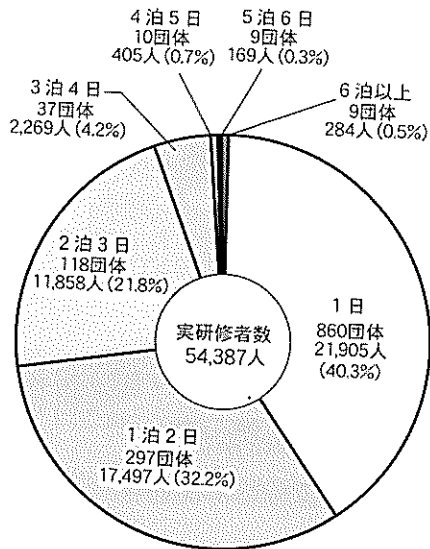


② 団体種別

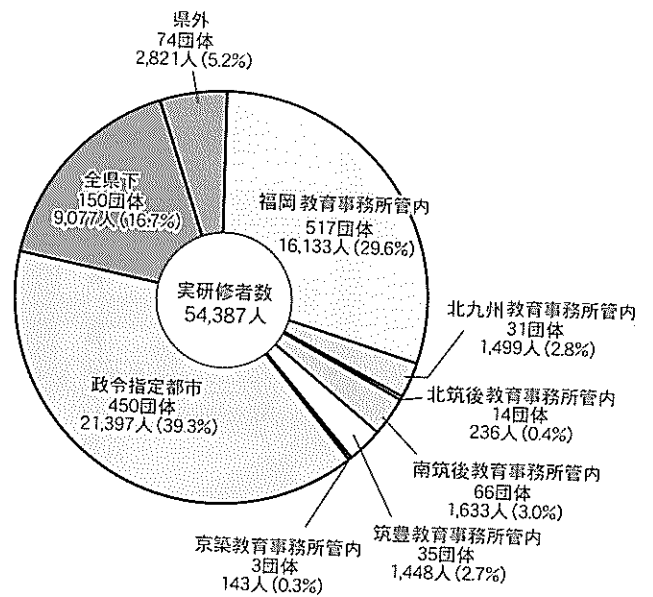
区分	団体数	研修者数	割合
学校利用	小学校	88	3,282 6.0%
	中学校	76	4,260 7.8%
	高等学校	73	5,775 10.7%
	特別支援学校	18	325 0.6%
	大学・短大・高専・専修・各種学校	103	6,660 12.2%
小計	358	20,302	37.3%
少年団体	252	10,559	19.4%
青年団体	33	2,606	4.8%
成人団体	448	10,061	18.5%
学校教育指導者	31	892	1.6%
社会教育指導者	92	5,846	10.8%
企業	121	3,424	6.3%
その他	5	697	1.3%
合計	1,340	54,387	100.0%



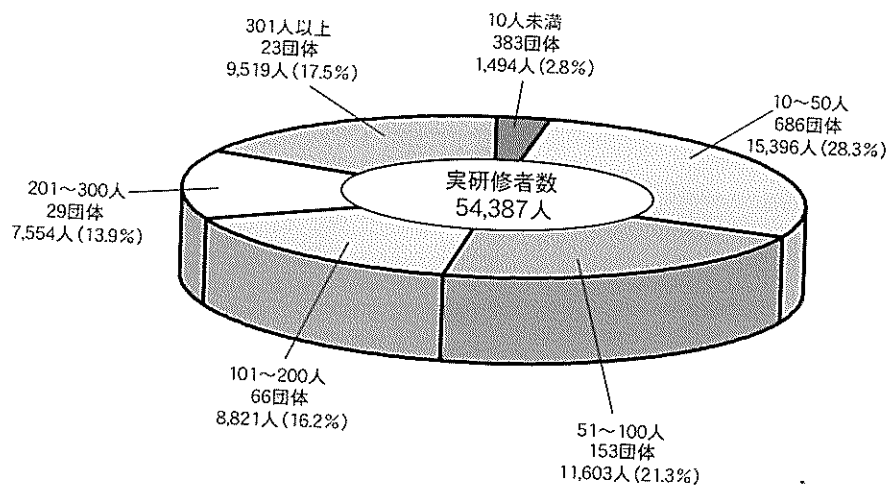
③ 一日研修・宿泊研修



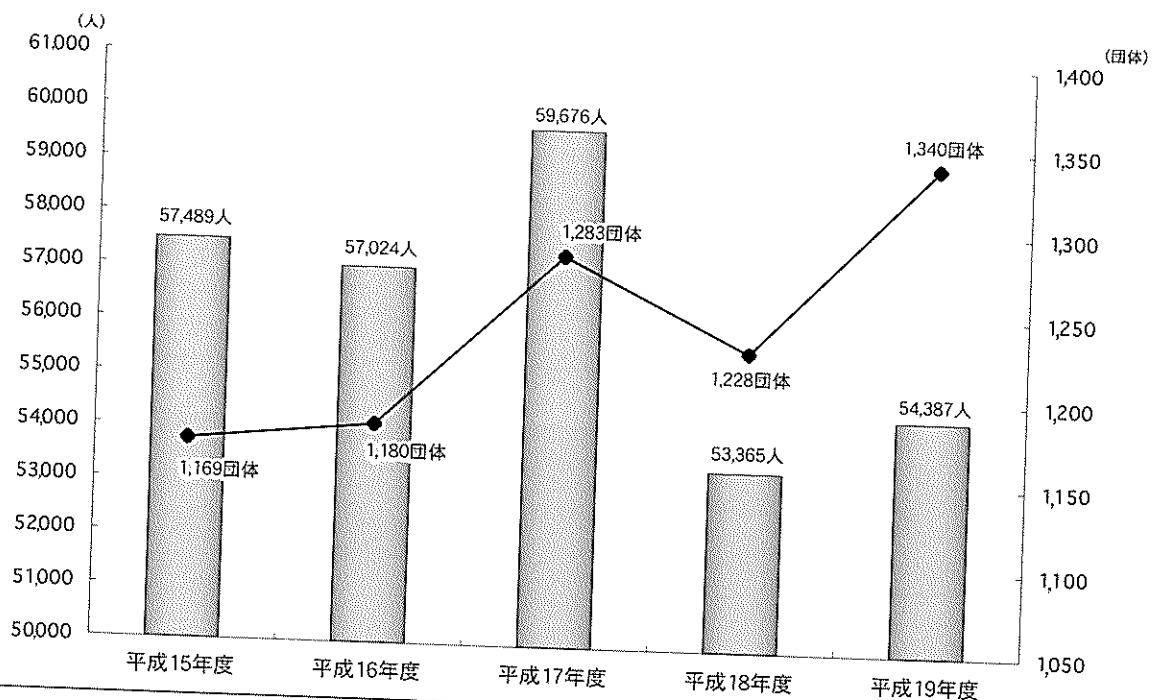
④ 地域別



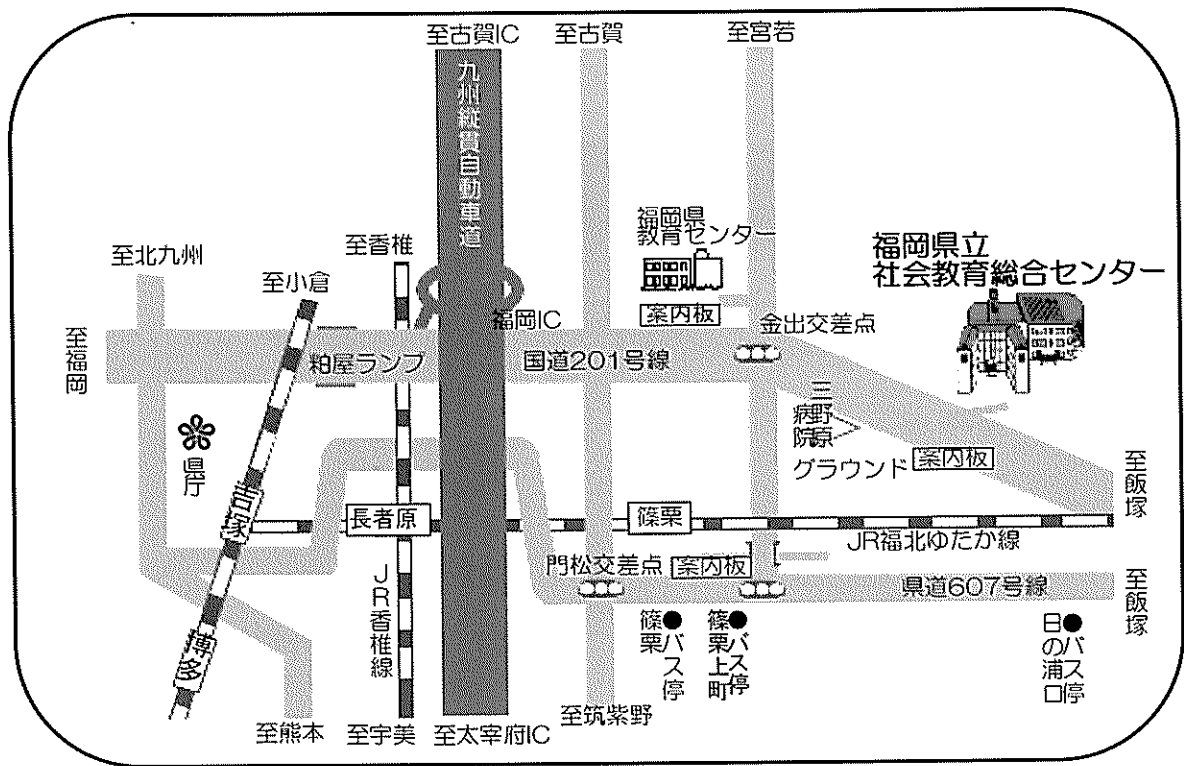
⑤ 団体規模別



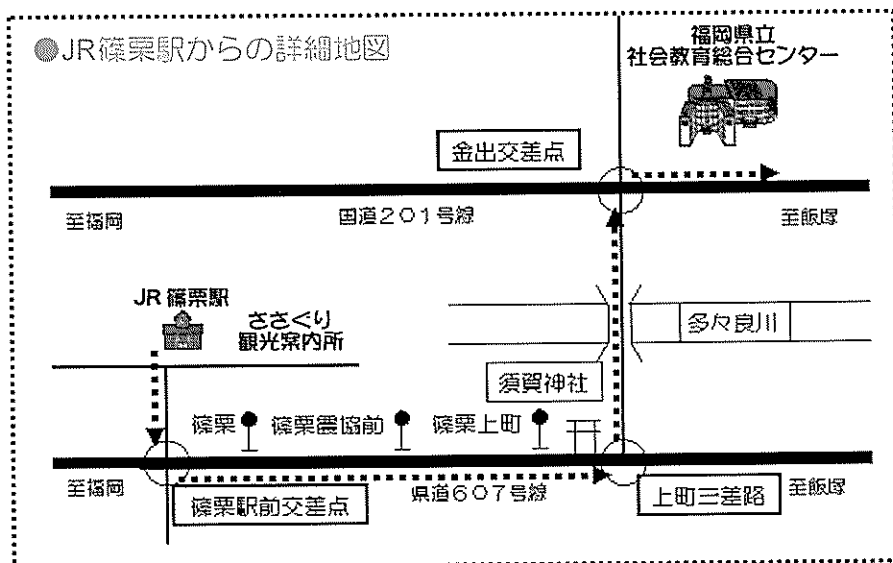
⑥ 年度別利用者及び利用団体数



●周辺地図



●JR篠栗駅からの詳細地図



●交通案内

JRをご利用の場合 博多駅 ↓ 約20分 篠栗駅 ↓ 徒歩20分 タクシー約5分 センター	西鉄バスをご利用の場合 天神日銀前 (310番) ↓ 約40分 日ノ浦口 ↓ 徒歩5分 センター	乗用車をご利用の場合 九州縦貫自動車道 (福岡・C) または都市高速道路 (粕屋ランプ) ↓ 約12分 センター
---	--	--

福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029
Mail shakyoc@pref.fukuoka.lg.jp

- 家庭教育相談「親・おや電話」 TEL 092-947-3515
- 視聴覚ライブラリー TEL 092-947-3514
- 学習相談 TEL 092-948-0728

●ふくおか社会教育ネットワーク

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

●ふくおか子育てパーク

パソコン <http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>
携帯 <http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/m>